



第26号

昭和37年11月15日印刷
昭和37年11月20日発行

発行所
宇都宮市旭町1-3.427
宇都宮商工会議所
電話(2) 2,622 3,072番
2,905

編集兼
発行 藤生善之助
印刷 秋場栄吉
宇都宮市旭町2丁目
印刷所 三共印刷株式会社
電話(2) 4,006・6,481番

昭和38年度税制改正に関する意見

日本商工会議所

(昭和37・10・17)

明年度の税制改正については、財源の関係から減税を見送るべきであるとか、あるいは減税するとしても所得税を中心とすべきであるとの見解が行われている。われわれはできれば、所得税軽減の実現を望むものであるが、去る九月明年度財政経済に関する意見において明かにしたとおり貿易自由化の大巾実施やアメリカのドル防衛策ならびにE.C.の進展等、わが国をめぐる経済的国際環境がますますきびしさを加えつつある今日、企業の国際競争力の増強と輸出の振興は刻下喫緊の急務であるので、明年度の税制改正に当っては、歳出の合理化重点化により、極力減税財源を確保し、資本蓄積の促進、国際競争力の強化、輸出の振興、中小企業の近代化推進のために下記の減税および税制措置を実現されるよう要望するものである。

記

1、資本蓄積のための税制措置

国民の貯蓄意欲を高揚し、資本の蓄積を促進するため、三十七年度末に期限の到来する利子所得および配当所得に対する特別措置の適用期限をさらに延長すること。

2、合同、転換等のための税制措置

企業の合同、協同化、転換を容易にし、近代化、合理化のための工場移転を円滑ならしめるため、合併および資産の譲渡、買換えについて課税の特例を設けること。

3、科学技術振興のための税制措置

(イ) 国産新技術の開発促進をはかるため、試験研究準備金制度を創設し、企業が新技術の試験研究に必要な資金を積立てた場合には一定の限度でこれを必要経費または損金に算入することを認めること。

(ロ) 新技術の企業化助成と国際競争力の強化に資するため、三十七年度末に期限の到来する新技術企業化用機械設備等の特別償却の適用期限を延長すること。

4、輸出振興のための税制措置

輸出の振興をはかるため、新たに海外市場開拓調査準備金制度を設け、企業が海外市場の開拓調査に必要な資金を積立てた場合には一定の限度でこれを必要経費または損金に算入することを認めること。

なお、三十七年度末に期限の到来する「輸出取引がある場合の特別償却制度」については、期限を延長するとともに、その内容を改善すること。

5、中小企業近代化のための税制措置

(イ) 配当軽減措置等が中小企業には均てんすることが少ない実情にかんがみ、法人税の軽減税率を三割引下げるとともに、その適用範囲を三〇〇万円に引上げること。

(ロ) 中小企業の内部留保を促進するため、同族法人の留保所得に対する特別課税を廃止すること。

(ハ) 中小企業の設備の近代化を推進するため、中小企業近代化積立て金制度を設け、中小企業が所得のうちより一定の設備を取得するために必要な資金を積立てた場合には、一定の限度でこれを必要経費または損金に算入することを認めること。

(ニ) 個人企業の経営を合理化するため、家族従業員の給与支出を認めるか、または現行の専従者控除額を大巾に引上げること。

6、事業税および住民税

事業税および住民税の課税所得の計算が国税のそれとは異なるため、徴税および納税上公私の労力および時間のむだがかんがみ、これらの課税所得の計算を国税に統一し、国民負担の軽減をはかること。

なお、とくに住民税の負担が市町村によって甚しい不均衡をきたしている実状にあるので、これが是正について適切な措置を講ぜられたい。

中小企業基本政策要綱

(中小企業基本法案要綱)

日本商工会議所

(昭和37・10・17)

わが国の中小企業は、国民経済上きわめて重要な地位を占め、不断の努力と工夫によって、生産、流通、輸出、雇用等わが国経済の全面にわたり経済の成長発展に多大の貢献をしてきた。

このような中小企業は、今後のわが国経済の発展過程において、ひきつづいて重要な役割を担うとともに、中小企業者が社会の中堅的な階層として国民生活の安定と向上に大きく寄与するものであることを確信する。

しかるに、わが国の中小企業は、戦後とくに経営基盤が相対的に弱まり、その生産性において大企業との間に著しい格差があるのみならず、近時経済の著しい発展に伴い、その格差はさらに拡大する傾向を示している。したがって中小企業の経営基盤を強化するためにその近代化をはかり生産性格差を是正することは、中小企業の地位の向上のみならず、国民経済の健全な発展にとってきわめて重要な課題である。

さらに、近時における国内消費構造および国際経済環境の変化と雇用構造の変動は、中小企業の近代化の緊急性を一段と要請している。

よって、中小企業の資本装備の充実ならびに経営および技術の改善向上を促進し、その体質改善をはかるとともに中小企業の経済的環境の不利を補正して公正にして秩序ある競争関係を確立するに必要な施策を講じ、中小企業の安定と発展をはからねばならない。この場合、企業の側においては、一層自己の社会的責任を自覚し、その創意工夫と協同意識を高度に発揚することが肝要である。

われわれはここに、中小企業に対する政策の目標と政策の要綱を示し、中小企業基本政策の方向を明らかにするものである。

1、政策の目標

国の中小企業政策の目標は、国民経済の成長発展に伴う産業構造の高度化および社会生活の進歩向上に即応し中小企業の近代化を促進するとともに、その経済的環境の不利を補正し、規模別生産性格差が是正されるよう中小企業の生産性の向上および所得の増大をはかり、もって国民経済の健全な発展に資することにあるものとする。

2、中小企業の定義

中小企業の定義はつぎのとおりとする。
(1) 原則として従業員三〇〇人以下または資本金五千万円以下(商業、サービス業は従業員五〇人以下)のもの。

(2) 特定の業種または施策において(一)によることが適当でないと思われらるものについてはその実態に即して別に定めるものとする。

3、動向調査および総合基本調査の実施ならびに施策についての国会報告

(1) 政府は、中小企業の動向調査を毎年、総合基本調査を三年ごとに行ない、その結果を公表する。

(2) 政府は、毎年国会に中小企業の動向および政府が中小企業に対して講じた施策について報告する。

(3) 政府は、毎年国会に中小企業に対して講じようとする施策を明らかにした文書を提出する。

4、中小企業近代化目標の設定と近代化の促進
国は、第一項の目標を実現するため、業種別につきの各号に掲げる事項に関し総合的な近代化目標を定め、これに基づいて中小企業の近代化を促進する。

イ、企業規模の適度化

ロ、自主性ある企業への育成

ハ、規格の標準化と専門化等

ニ、資本装備の充実(設備の近代化)

ホ、経営および技術の改善

ヘ、流通および取引条件の合理化

ト、企業間の合同、協同化および転換

チ、その他中小企業の近代化に必要な事項

5、需給測定および市場調査の整備

国は、第4項の施策に資するため、中小企業製品の需

米・雑穀・食料品・飼料・燃料

宇都宮食販株式会社

社長 田 辺 正 平

本社 宇都宮市東峰町3057

TEL (2) 3616・3617



◆日通プロパン特約店

宇都宮食販プロパン瓦斯 販売部

営業所 宇都宮市松峰町1145

TEL (2) 5947

給測定および市場調査を行なう専門機関の整備ならびに共同事業による需給測定および市場調査に対する助成の施策を講ずる。

6、企業規模の適度化

国は、企業の適度規模の標準を設定し、資本装備の充実、企業の合同および協同化等により企業規模の適度化をはかる。

7、自主性ある企業への育成

国は、下請、貸加工業で経済的に不利となっているものについては、自主性ある企業への育成をはかる。

8、規格の標準化と専門化等

国は、中小企業製品の標準化を促進し、生産の専門化をはかるとともに、製品の高級化、特殊化等による生産の特化を助長する。

9、資本装備の充実（設備の近代化）

(1) 国は、企業規模の適度化、生産の専門化、品質精度の向上、コストの引下げ等をはかるため、作業の機械化、老朽設備の更新および機械設備の高性能化等資本装備の充実（設備の近代化）をはかるとともに、共同施設の設置を促進するに必要な施策を講ずる。
(2) 国は、商業における販売の合理化能率化のため、その設備の近代化、共同店舗化および商店街施設その他の共同施設の充実に必要な施策を講ずる。

(3) 国は、前2項に関連し、同業種または関連業種の工場、商店等についてその集団化をはかる。

10、経営および技術の改善

(1) 国は、経営および技術の改善をはかるため、中小企業の管理者、技術者その他従業員の研修訓練、企業診断、経営指導、情報の提供等の施策を講ずる。
(2) 国は、前項に関連し、公設の試験研究機関の拡充、試験研究に対する助成、技術技能の改善開発のための産学共同体制の確立等をはかる。

11、流通および取引条件の合理化

(1) 国は、流通面における生産性の向上のため、流通機構の合理化および取引条件の適正化をはかる。
(2) 国は、下請関係企業の公正な利益を確保するため、その取引関係の正常化をはかる。

12、企業の合同、協同化および転換の円滑化

国は、企業規模の適度化、資本装備の充実、流通の合理化等の場合に必要な企業の合同、協同化および転換を円滑にするため金融、税制上の施策を講ずる。

13、事業分野の調整

(1) 国は、事業分野調整のための機構を整備し、中小企業が相当の比重を占める生産分野において、大企業の進出により中小企業に著しい影響を及ぼすおそれがあるときは、幹旋、調停、仲裁その他必要な調整措置を講ずる。

(2) 国は、大企業または農業協同組合、消費生活協同組合、購買会等（以下協同組合等という）の進出により

中小商業に著しい影響を及ぼすおそれがあるときは、前項と同様の措置を講ずる。

14、競争の正常化

国は、中小企業と大企業との間、中小企業相互間または中小企業と協同組合等との間における競争の正常化について必要な施策を講ずる。

15、雇用の確保

国は、中小企業における雇用の確保をはかるため、労働条件の向上、労務管理の改善、福利施設の整備、労使関係の安定ならびに産業間、地域間の労働移動の円滑化等に必要な施策を講ずる。

16、輸出の振興

国は、中小企業製品の輸出の振興をはかるため、輸出取引秩序の確立、海外市場の調査開拓、海外への普及宣伝ならびに中小企業の海外進出等に必要な施策を講ずる。

17、官公需の確保

国は、中小企業にひろく事業活動の機会を与えるため国または地方公共団体等の物品または役務の発注の一定割合を中小企業に確保するために必要な施策を講ずる。

18、金融の円滑化

国は、中小企業の近代化の促進を中心としてその金融の確保をはかるため、つぎの施策を講ずる。
イ、政府関係中小企業金融機関を強化し、その資金源を増大するとともに、中小企業の近代化目標実現のための政策金融を行なうに必要な財政投融资を確保する。
ロ、民間中小企業専門金融機関を育成強化する。
ハ、民間金融機関（ロを除く）における中小企業向け融資を確保するため適切な措置を講ずる。
ニ、中小企業に対する金利その他の貸付条件の改善をはかる。

ホ、中小企業信用補完制度を拡充強化する。

19、税負担の軽減合理化

国は、国税および地方税を通して、中小企業の税負担

医薬品・化粧品



有限会社

中村薬局

宇都宮市オリオン通り

電話 (2) 4572

を軽減合理化するとともに、その近代化を促進するために必要な税制上の措置を講ずる。

20、資本調達の円滑化

国は、中小企業の資本構成の改善と長期資金を確保するため、その資本の調達を円滑にするための施策を講ずる。

21、組織の強化

国は、中小企業の組織を強化する施策を講じ、中小企業の自主的努力の助長に努める。

22、小規模企業に対する施策

国は、前各項の施策を講ずるにあたっては、小規模企業に対し、金融、税制面において特別の考慮を払うとともに、これに対する社会保険制度の拡充、指導事業の強化等をはかる。

23、法制上および財政上の措置

政府は、この要綱に基づく施策を実施するため必要な法制上および財政上の措置を講ずる。

24、地方公共団体の施策

地方公共団体は、国の施策に準じて施策を講ずる。

25、行政組織の整備等

(1) 前各項の施行に関する重要事項を調査審議するため内閣に中小企業政策審議会を置く。
 (2) 国および地方公共団体は、前各項の施策を講ずるにつき、あい協力するとともに、行政組織の整備および行政運営の改善に努める。

恒例「宮の秋まつり」

商業祭行事予定表

宇都宮商工会議所
 主 催 宇都宮観光協会
 宇都宮市商店街連盟

| No. | 行事名 | 期日 | 場 所 | 備 考 |
|-----|---------------|-------|----------|-----------------------|
| 1 | 連合福引大売出し | 21~25 | 参加加盟店 | 福引所・二荒山前、東武駅前、宮駅デパート内 |
| 2 | 商店照明コンク | 市 | 市内 | 参加 商店 |
| 3 | 宇都宮優良木製品展示即売会 | 市 | 当所2階ホ | 市内木製品の展示即売 |
| 4 | 栃木県発明展覧会 | 市 | 東武デパート5階 | 第12回県下発明家の出品 |
| 5 | 第4回国民謡おど大会 | 23 | 東武駅前広場 | 県下各地より参加 |
| 6 | お雛子大会 | 24~25 | 二荒山神社 | 市内各チーム参加 |
| 7 | 青ぞらユーマア博物館 | 21~25 | 馬場町通り商店街 | 各商店趣向を凝らし店頭・装飾 |
| 8 | 菊花品評大会 | 市 | 東武駅前広場 | 鉢植・切花・懸崖等出品 |

| | | | | |
|----|----------------|---|----------|---------------------|
| 9 | 栃木県優良食品展示即売会 | 市 | 東武デパート5階 | 県下優良食品全部を出品 |
| 10 | 1963年型新車自動車展示会 | 市 | 東武駅前西口広場 | 新車各種展示と即売 |
| 11 | 家具・デザイン展 | 市 | 当所2階ホ | 応募作品展示 |
| 12 | 宇都宮観光写真展 | 市 | 上野百貨店6階 | 宇都宮の観光を写した、フォトコンテスト |
| 13 | 大工町通り菊花コンクール | 市 | 大工町通り商店街 | 菊花を大工町商店街舗道に置き選定する |

附 記

宇都宮競輪後節 11月23・24・25日
 宇都宮大学祭 19~25 (25日仮装行列)
 第2回栃木県畜産共進会 18~20日
 農業 祭 11月20日~24日

酒の密造はやめましょう

酒類は、政府から免許を受けない人は、絶対に造ってはならないことに規定されています。(ただし、梅酒は自家用のために造ることは、今年の四月から一般に認められました) 免許のない人が、大切な米を使ってドロクを造ったり、ブドーでブドー酒を造ったりしますと、密造犯としてきびしい処罰を受けることになっております。

国家の財政を侵害し、飲む人の健康さえもそこねる密造酒は、絶対に撲滅しなければならない、と税務署では常に密造防止に努めております。

どうか皆様方も一人一人が密造酒を、自分の町からなくすというお気持ちで、密造酒のほくめつに御協力下さい。(税務署より)

日商だより

第90回常議員会開催

一、日時 昭和37年9月19日(水) 15時~15時30分

二、場所 第1・2会議室(東商ビル3階)

三、当所より荒牧副会頭出席

四、報告事項

- (1) 昭和37年7・8月業務概要報告
 - (2) 中小企業関係38年度予算に関する件
 - (3) 昭和37年度経営指導員研修会に関する件
 - (4) 第7回全国商店サービス強化運動実施に関する件
 - (5) 昭和37年度貿易振興運動に関する件
 - (6) 広域観光ルート整備に関する懇談会の件
 - (7) 訪英経済使節団派遣に関する件
 - (8) 国産品普及向上運動に関する件
 - (9) 第5回全国推奨観光土産品発表会に関する件
 - (10) 全国商工会議所業格概況報告(昭和37年4月分)
- 五、協議事項

- A、昭和37年度会費減免に関する件
- B、日本商工会議所第16回被表彰者に関する件
- C、議員総会への提案事項
 - (1) 昭和36年度事業報告の件
 - (2) 昭和36年度経費収支決算報告の件
 - (3) 常議員補欠選任の件
 - (4) 中小企業下半期金融に関する件
 - (5) 昭和38年度財政経済政策に関する件
 - (6) 工業教育振興に関する要望の件
 - (7) 商工会議所役員退職年金制度に関する件
 - (8) 筑豊地域緊急対策について陳情の件（福岡県商工会議所連合会提案）
 - (9) 国の土木建設工事予算年度改正に関する件（新潟商工会議所提案）

第91回常議員会開催

- 一、日時 昭和37年10月17日（水）14時～16時
- 二、場所 第1・2会議室（東商ビル3階）
- 三、当所より荒收副会頭出席
- 四、報告事項
 - (1) 昭和37年9月業務概要報告
 - (2) 税制委員会よりの報告
 - (3) 中小企業基本政策調査会よりの報告
 - (4) 中小企業委員会よりの報告
 - (5) 地域経済開発特別委員会よりの報告
 - (6) 全国商工会議所業務概況報告（昭和37年5月分）
- 五、協議事項
 - (1) 明年度税制改正に関する件
 - (2) 中小企業基本政策に関する件
 - (3) 第18次計画造船の急速実現に関する要望の件（横須賀商工会議所提案）
- 六、説明 「公正競争規約制度について」

公正取引委員会事務局
 經濟部取引課長 後藤英輔氏

宇都宮手形交換高（単位千円）

| 年 | 月 | 手形枚数 | 金額 |
|------|----|--------|------------|
| 三十七年 | 八月 | 三七、二八四 | 一〇、五二七、七八〇 |
| | 九月 | 三四、〇〇六 | 八、八四五、三一九 |
| | 十月 | 四〇、四四〇 | 一一、〇八四、八五七 |

不渡手形

| 年 | 月 | 手形枚数 | 金額 |
|------|----|------|--------|
| 三十七年 | 八月 | 四九八 | 三〇、八六七 |
| | 九月 | 二九七 | 二六、四八三 |
| | 十月 | 五五六 | 三二、六五〇 |

株式会社
上野美治商店
 宇都宮市大工町492
 電話宇都宮(2)7145・7146・7147

砂糖 小麦粉 水飴 雑穀 澱粉 食用油 飼料油 石油 諸油 其の他 食料品

宇都宮銀行会（八行加盟）預金貸付高

| 年 | 月 | 預金 | 貸付 |
|------|----|------------|------------|
| 三十七年 | 八月 | 三一、九六九、八〇五 | 一九、二四九、〇五五 |
| | 九月 | 三三、五四二、一四〇 | 一九、〇四六、七八一 |
| | 十月 | 三四、二二八、六〇七 | 一九、八六〇、七五六 |

宇都宮中小商工業施設改善資金
 融資状況

| 年 | 月 | 摘要 | 件数 | 金額 |
|------|----|------|----|--------|
| 三十七年 | 八月 | 申込認分 | 一一 | 四、六一〇〇 |
| | 九月 | 申込認分 | 一六 | 七、〇〇〇 |
| | 十月 | 申込認分 | 六八 | 一、七二〇〇 |

宇都宮市中小企業互助会運転資金
 状況

| 年 | 月 | 摘要 | 件数 | 金額 |
|------|----|------|----|--------|
| 三十七年 | 八月 | 申込認分 | 二九 | 六、八五〇〇 |
| | 九月 | 申込認分 | 三〇 | 五、七八五 |
| | 十月 | 申込認分 | 二五 | 四、五八〇〇 |

電話料金改正に就いて

日ごろ電報・電話のご利用をいただき、ありがとうございます。さて、このたび電信電話公社では、電話料金制度をより合理的なものとするため、市外通話料金の計算方法を全面的に改めることとし、去る9月30日から全国一せいに新しい電話料金制度を実施致しました。今回改正された主な点は次の通りです。よろしく皆様の御協力をお願い申

しあげます。

記

◎市外通話料は、これまで3分迄を1通話、3分から6分までを2通話というように、3分単位で計算していましたが、ダイヤルでつながる市外通話料金の単位と交換手がつながる市外通話料金の単位が次のようになりました。
東京・鹿沼・太田原・真岡へのダイヤル市外通話の料金単位は、市内通話と同じ7円になりました。7円で話せる秒数は、鹿沼・真岡へは50秒、太田原へは30秒、東京へは13秒というように違い局程秒数が短くなっています。

そのほかの局への市外通話は、すべて局の交換手がつながりますが、この場合は、3分一分制といって、はじめの3分までは、1分でも、2分でも同じですが、3分を超えたと、1分ぎざみで料金が計算されます。

○例へば、雀宮へは、はじめの3分までは9円（基本通話料）で、あとは1分ごとに3円（基本通話料の1/3）づつ加算します。

◎毎月の基本料は、これまでと同じです。ただ級局の呼び方が変わりますので、これからは8級局となります。（従前は4級局）

◎なお、今回の料金改正は、値上げを意図するものでなく市外通話全国自動化と社会生活圏の拡大に伴う市内外通話料の格差をへらすための料金体系の是正にあります。然しながら、公社では、質・量とも便利な電話にするため、年々巨額の建設投資をしています。その財源に料金収入がかなりのウェイトを占めています。ですから料金制度を変えた後も現在と同じ程度の収入を確保する必要があります。次の表で示すとおり、4分・5分の通話がかなり割安になり、当然減収となるので、基本通話料は、今までの1通話の料金よりいくぶん割高になっています。

◎宇都宮からの例（交換手のつなぐ市外通話）

| 現在 | 改正後 | 現在 | 改正後 | 現在 | 改正後 | 現在 | 改正後 | 通話時間 | 通話先 |
|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|------|-----|
| 35 | 39 | 25 | 27 | 50 | 36 | 50 | 45 | 3分 | 栃木 |
| 70 | 52 | 50 | 45 | 50 | 54 | 50 | 55 | 4分 | |
| 70 | 65 | 60 | 55 | 60 | 66 | 60 | 66 | 5分 | |
| 70 | 78 | 70 | 63 | 75 | 77 | 90 | 77 | 6分 | |
| 105 | 91 | 90 | 77 | 90 | 77 | 90 | 77 | 7分 | |
| 足利 | 雀宮 | 佐野 | 雀宮 | 雀宮 | 雀宮 | 雀宮 | 雀宮 | 7分 | 雀宮 |

（宇都宮電話局）

第7回全国商店街・商店サービスコンクール入賞決定さる

開期 10月1日～同月31日

(a) 商店街サービス、コンクール入賞第1位

（栃木県商工会議所連合会推薦）

宇都宮市バンバ通り商店街

（会長 齋藤良雄）

(b) 商店サービスコンクール入賞店舗

| | | | | | |
|-----|-----|---|---|---|---|
| 第1位 | (株) | マ | ス | キ | ン |
| 第2位 | (有) | あ | ぶ | ら | や |
| 第3位 | (有) | 絹 | 周 | 家 | 具 |
| 第4位 | (株) | 渡 | 辺 | 靴 | 工 |
| 第5位 | (有) | 宮 | 本 | 写 | 真 |
| 第6位 | (有) | 金 | 仲 | 商 | 店 |

中小企業相談所の動き

(一)、商業経営研究会

商業活動の激烈化に呼応、関係指導者に近代的経営の知識を普及当市商業の活発なる振興を企図する目的にて、栃木県並に商工会議所連合会主催・日本経済新聞社後援の下に、去る9月18・19の両日、日光市田母沢本館に於て、左記科目及講師に依り、本年度の経営研究会を開催せられた。市内業者多数の参加者を得て、終始熱心に聴講され有意義に終了した。

記

科目と講師

「商店経営のポイントに就いて」

商工経営指導研究所長 安田 正夫氏

「経済の見透しと商店経営に就いて」

世界勤態研究所長 中西 重思氏

(二)、商店経営内面診断実施さる

東京都商工指導所商店診断室主査瀬戸正美氏及高智尾男氏を招聘、去る10月1日より4日間に亘り、市内15店舗の経営を診断、各業者の今後の営業方針に寄与するところ多くあり、受診商店に大いによこされた。

(三)、工場経営内面診断実施さる

当所委嘱専門指導員久保井稔理士外三稔理士の方々にお願ひして、10月22日より27日迄、左記事業所の経営診断を実施し好評を得た。

記

栃木工業(株)、(株)花塚製作所、(株)福美縫製工業、

日水・日冷代理店



株式会社 山丸魚市場

代表取締役 野中辰吉

専務取締役 野中昌利

本社 宇都宮市小袋町 TEL(2)6621-5

営業所 足利市伊勢町 TEL 6181-2

〃 下館市二本成稻荷塚 TEL 3972-3

| 日時 | 会場 | 団体名 | 講師 |
|-----------|---------|--------------|--------------|
| 6月6日 午後7時 | 峰町第三公民館 | 峰町商店街会員 | 市・萩原課長補佐 外一名 |
| 8月7日 当日 | 宇都宮家具協組 | 市・萩原課長補佐 外二名 | |

当所は宇都宮市との共催により次の通り各地区別に、経営改善懇談会を開催し、各々多大の成果を挙げ、関係業者の方々によろこばれております。
 今後の開催御希望の団体に於かれましては、なるべくお早目に、当所宛お申込下さい。できるだけ御希望に添うよう努力致します。

(四) 経営改善懇談会開催結果に就いて

(一) 富永製機製作所(福島県矢吹町)
 (二) 浜津鉄工所(郡山市兵庫田)

(三) 店舗構成・陳列・照明診断実施さる

商工経営研究指導所長安田正夫氏、並に通産省登録診断員長井富夫氏を招聘して、10月12・13・29・30・31日まで及11月1・2・6・7日の9日間に亘り、市内旭二町鳥島商店外36店舗の診断を実施し、受診商店に大いによろこばれた。

記

当所工業部会に於いては、かねて懸案の左記近県優良工場視察を去る10月6日実施した。参加者は市内菊地鉄工所外36の有力事業所に達し、当所より荒井工業部会長、渡辺指導員が案内し、今後の工場経営面に参考になるものが多かったと参加事業主に大いによろこばれ、有意義に終了した。

(四) 優良工場県外視察

(株)宇都宮被服産業、(株)バイオニヤ・フラワー、鈴木銀工(株)

| 主催 | 日時 | 会場 | 題名 | 講師 | 備考 |
|------|-------------|------|-----------------|------------------|----------|
| 市会議所 | 10月14日 午後1時 | 市会議所 | 商業デザイン | 東京都工芸指導所技師 岡本通氏 | 無料 |
| 市会議所 | 10月16日 午後1時 | 市会議所 | 話し方講習会 | 池田経済研究所 池田基行氏 | 聴講料 100円 |
| 市会議所 | 10月20日 午後1時 | 市会議所 | 賃金問題を中心とした労務管理 | 池田経済研究所 中川忠夫氏 | 同 |
| 市会議所 | 11月6日 午後1時 | 市会議所 | 経済分析とプロメーターの使い方 | 経営士 元木繁樹氏 | 同 |
| 市会議所 | 11月10日 午後6時 | 市会議所 | 主婦にもできる帳簿のつけかた | 宇都宮市校教諭 福田十郎氏 | 同 |
| 市会議所 | 11月15日 午後1時 | 市会議所 | 資金計画と歳末融資 | 国民金融公庫 支所長 花田護一氏 | 無料 |

さきに開催した経営改善懇談会開催の結果に基き各参加商店の共通の要望にこたえて次の講習会を開催しました。

(四) 経営改善各種講習会開催さる

- (一) 出席者は何れも経営改善の熱意にあふれていた。
- (二) 技術の面のみでは経営は延びなやむ、経営能力の向上が必要であるとの声が強かった。
- (三) 経済界の先き行きと、これが対策に関心が強かった。
- (四) 組合、他の団結と企業合同等の対策の強化が訴えられている。
- (五) 従業員の雇傭難解決のためには待遇改善の要が先決であると痛感された。
- (六) 白色申告者が意外に多かった。これらの人は主婦が記帳できるようになることを望んでいた。(当所では主婦にもできる記帳の仕方の講習会を開いた) 次項。
- (七) 金融引締めが行き亘っている。(当所は歳末融資講習会を開くことにした)
- (八) 地方税の割高は業者の心理面に相当影響している。

附記

| | | | |
|-----------|--------|-----------|----------|
| 10月10日 6時 | 消防第四分団 | 宇都宮精肉商組 | 市・岩田主事 |
| 11月7日 当日 | 所 | 宇都宮自販車業組合 | 市・黒崎主事 |
| 11月9日 2時 | 琴平神社清琴 | 宇都宮板ガラス組合 | 市・黒崎主事 |
| 11月8日 2時 | 同 | 協会宇都宮部会 | 市・渡辺主事 |
| 11月7日 2時 | 同 | 同志会 | 市・黒崎主事 |
| 11月6日 5時 | 同 | 宇都宮機械工業 | 市・久保井主事 |
| 9月2日 10時 | 当 | 宇都宮洋服業組 | 市・黒崎主事 |
| 9月2日 2時 | 組合事務所 | 宇都宮協組 | 市・萩原主事 |
| 9月2日 3時 | 実業クラブ | 宇都宮銀造工業 | 市・渡辺主事 |
| 8月9日 8時 | 宇都宮木材会 | 宇都宮建具工業 | 市・黒崎主事 |
| 8月5日 5時 | 協組 | 宇都宮玩具工業 | 市・萩原課長補佐 |
| 8月8日 8時 | 協組 | 宇都宮玩具工業 | 市・久間主事 |

第46回珠算能力検定試験結果発表

日時 37・10・28日 9時
場所 宇都宮旭中学校

| 級別 | 申込数 | 欠席 | 受験者数 | 合格数 | 満点数 | % |
|----|-------|-----|-------|-----|--------|---|
| 一 | 五八 | 二 | 五六 | 八 | 一一・四・三 | |
| 二 | 二八三 | 三八 | 二四五 | 三一 | 一一・二・七 | |
| 三 | 一一一八 | 八八 | 一、〇三〇 | 四二六 | 四一・四 | |
| 四 | 一四三 | 二二 | 一二二 | 五〇 | 四一・三 | |
| 五 | 七一 | 七 | 六四 | 三二 | 五〇・〇 | |
| 六 | 五六 | 一 | 五五 | 二四 | 四三・六 | |
| 合計 | 一、七二九 | 一五八 | 一、五七二 | 五七一 | 一三六・三 | |

第17回和文タイピスト検定試験結果発表

日時 37・10・14日 9時
場所 宇都宮須賀高等学校

| 級別 | 申込数 | 欠席 | 受験者数 | 合格数 | 満点数 | % |
|----|-----|----|------|-----|-------|---|
| 一 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 二 | 一 | 一 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 三 | 三 | 一 | 二 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 四 | 七 | 〇 | 七 | 三 | 四二・八 | |
| 合計 | 一一 | 二 | 九 | 三 | 〇三三・三 | |

第17回英文タイピスト検定試験結果発表

日時 37・11・4日 9時
場所 宇都宮商業高等学校

| 級別 | 申込数 | 欠席 | 受験者数 | 合格数 | 満点数 | % |
|----|-----|----|------|-----|-------|---|
| A | 一 | 〇 | 一 | 〇 | 〇 | 〇 |
| B | 二 | 〇 | 二 | 〇 | 〇 | 〇 |
| C | 二 | 〇 | 二 | 〇 | 〇 | 〇 |
| D | 二 | 〇 | 二 | 一 | 五〇 | |
| 合計 | 七 | 〇 | 七 | 一 | 〇一四・三 | |

宇都宮物産観光展

甲府市に於て開催さる!

宇都宮市並に当所、宇都宮商工卸業連盟、宇都宮観光協会主催、後援甲府市、甲府商工会議所並に栃木県により、「宇都宮物産観光展」を11月2日より4日迄、3日間本年甲府市山梨県民会館(地下催場)に於て開催致しました

栃木トヨタ自動車株式会社

宇都宮市西原町桜通り 2885
電話 代(2) 7121

足利営業所 足利市山川町 831~1
電話 (代) 7367

黒磯営業所 黒磯町大字共墾社 96~9
電話 524・525

小山営業所 下都賀郡間々田町 859
電話 小山 1256・1257

宇都宮サービス 宇都宮市上横田町1294
センター 電話 (2) 1661



処、会期も折よく連休の為か、出足は極めて好調にて、文字通り会場は連日満員の盛況、米菓・干瓢・大谷石細工等の即売品が、飛ぶような売れ行きにて係員も嬉しい悲鳴をあげる始末にて、観光写真の展示、観光映画の上映にも人氣集中極めて好評にて、当市の物産、観光の紹介を充分に果すことができ、子期以上の盛況にて終了致しました。

「千曲夜曲」をビクターに吹き込み

当所の青木議員さん!

18年前戦傷の身を白衣に包んで長野県上山田温泉の陸軍病院の病床でつくれた、元大尉の作詩「千曲夜曲」がマヒナスターズによって、ビクターレコードに吹き込まれ新春一月の新譜として、十二月早々大々的に発売されることになった。作詩者は当市バンビルで、お台どころ用品専門店として知られた「タカラヤ」の御主人で、当所の常議員青木源吉さん(56)。昭和18年ニューギニアの激戦で傷ついた青木中尉(当時)は、同年暮れ内地に後送され上山田の陸軍病院に入った。文学将校として部隊でも有名だった青木さんは、折にふれては歌を作り、適当に曲をアレンジして部下に唄わせ、さびがちな戦場にほのかな慰めを与えていた。こんどレコードに吹き込まれた「千曲夜曲」も青木さんが入院中の作で、傷が快方にむかい、千曲川のほとりを散歩中、目にうつった千曲川の清らかな流れ、かれんに咲く月見草、絶え間なくふき出す湯煙りなど詩境のわくま、にメモしたものとのこと。先日ビクターとの契約が成立、吹き込みを完了、マヒナのリーダー和田弘氏が特別に作曲を担当、マヒナスターズが哀調切々に唄っている。なお本レコードはレコード化担当の第一人者と言われる同社の磯部健雄デレクターも、すばらしい作品で全力をあげて売り出しますと、次のように語られており、千曲夜曲のメロ

デーが近き日に、まず宇都宮の商店街から、全国的に流れゆくことも十分に想像されます。「北上夜曲のシリーズものとして、マヒナのムードにびったりです。叙情的なメロデーですから北上の第二弾として必ずヒットさせます」。

事務局だより

八月

- 二日 栃木県商工会議所連合会事務局長会議 十時、第一会議室
- 地区中小企業労働問題講習会 五時 くらかみ荘 講師 宇都宮大学教授 江原又七郎氏
- 四日 八日 本日より宮の夏まつり開催さる。
- 四日 七夕まつり審査会 午後四時 第一会議室 (オリオン通り、日野町、ユニオン通り)
- 五日 十六日 夏まつり素人のど自慢大会開催 五時、会議所前
- 六日 宇都宮市社会教育委員会 十時 市役所第三控室 当所70周年記念事業常任委員会 二時 第三会議室
- 八日 当所常議員懇談会 十一時 第三会議室
- 十日 宇都宮市中小企業互助会審査会 十時 第三会議室
- 夏の商品衛生納涼懇談会 午後六時 第一会議室
- 夏まつり大売出し抽籤会 十時 第三会議室
- 関東商工会議所連合会幹事会開催 甲府商工会議所、藤生専務理事出席
- 十二日 商店街定休日について懇談会 七時 第一会議室
- 十六日 宇都宮市古沢助役国際水質会議出席のため渡英挨拶に來所
- 十七日 宇都宮市中小商工業施設改善資金融資審査会 十時 第三会議室
- 宇都宮労働基準協会役員会 四時 於中村、藤生専務理事出席
- 日本電信電話公社地下線工事施行について打合せ 五時 松寿苑、荒牧副会頭、鈴木(善)議員出席
- 十八日 栃木県食品工業協会理事会 一時 くらかみ荘、新部職員出席
- 中小工業機械設備資金融資審査会 十時 市公室
- 二十日 第二電話局設置について懇談会開催 十時、第三会議室
- 二十日 昭和三十七年度商店経営講座開催 塩原町 吐月荘、参加者40名
- 二十日 東武地区夏まつり協力会決算報告会並に反省会開催 四時 東武ホール
- 第六回宇都宮製材技術競演会開催 七時 熊倉木材(株)
- 廿一日 全国高等学校選抜野球大会に作新学院優勝し郷土

入ります。当所並に市商店街連盟より優勝権をおくる。

- 廿一日 宇都宮保健所主催、店舗拝見並に座談会開催 九時 市保健所、新部職員出席
- 廿二日 作新学院優勝選手一行お礼の挨拶に來所す。
- 廿三日 国鉄生活協同組合支部売店問題について打合せ開催 第三会議室
- 廿四日 宇都宮市を中心とする長期的な交通対策について懇談会開催 十時三〇分 くらかみ荘 藤生専務理事出席
- 廿五日 鉄道管理局昇格運動について打合せ開催 十一時 市役所公室(国鉄宇都宮出張所整備促進本部主催) 藤生専務理事出席
- 廿七日 栃木県信用保証協会第三回定例理事会開催 十時 保証協会 藤生専務理事出席
- 廿八日 宇都宮市中小企業互助会融資審査会 十時 第三会議室
- 第三回経営指導員研修会開催 日光田母沢本館、一時 小川(七)、渡辺、新部、亀田、鈴木、吉田各経営指導員出席す。
- 九 月
- 三日 商業活動調整協議会委員懇談会 一時 第三会議室
- 四日 当所主催「最近の日本経済と労働問題」講演会開催 一時三〇分 栃木会館 講師、中山伊知郎氏
- 五日 当所議員懇談会 十一時 当所第一会議室
- 保坂連合会々長栃木県中小企業振興対策協議会委員に委嘱さる。
- 六日 中小企業金融公庫支店誘致について打合せ開催 十時 栃木県商工労働部長室 保坂会頭出席
- 宇都宮鉄道管理局設置促進陳情の為上京す。小川次長
- 七日 商業活動調整協議会 一時 第三会議室

木材と新建材と鋼材

近代建築の総合美装と耐火に



福田木材有限公司

宇都宮市宿郷町1の31番地

木材部, 木工部 TEL (2) 3357 番

新建材部, 鋼材部 TEL (2) 2277 番

- 七日 藤生専務理事栃木県中小企業労働福祉施設融資審査委員会委員に委嘱される。
- 八日 第三回宇都宮物産見本市に関する打合せ 十時 第一会議室
- 十日 第二回県勢振興長期計画懇談会 一時三〇分 県議長応接室
栃木県菓子工業組合創立総会開催 三時 マスキ
ン 荒收副会頭出席
- 十一日 栃木県商工会議所連合会定例事務局局長会議 十時 第三会議室
- 第三回群馬、栃木両県魚市場親善野球大会 八時 三〇分 県綜合運動場 荒收副会頭出席
- 十二日 栃木県中小企業振興対策協議会開催 十時 くらかみ荘 小川次長出席
- 第十一回宇都宮市商店街対抗親善野球大会開催 県営球場 小川次長出席
- 十三日 栃木県交通対策協議会第三回交通安全部会開催 一時三〇分 保坂会頭出席
- 宇都宮市中小企業互助会融資審査会 十時 第三会議室
- 中小企業金融公庫臨時幹事会開催 二時 県商工課 小川次長出席
- 十四日 藤生専務理事宇都宮市スポーツ振興審議会委員に任命される。
- 第一銀行頭取を囲む経済懇談会開催 二時 (朝)上野百貨店ホール 荒收副会頭出席
- 十五日 第三回栃木県工芸指導所指導作品展示即売会開催 東武五階ホール
全国労働衛生週間説明会開催 十時 第一会議室
労働基準監督署三上第二課長
商工業施設改善資金融資審査会 十時 第三会議室
- 十八日 栃木県中小企業労働福祉施設資金融資審査会 二時 県商工労働部長室
第十九回中小企業委員会開催 三時 東商ビル会議室 小川次長出席
商業経営研究会開催 一時 田母沢本館 渡辺職員出席
- 十九日 関東商工会議所連合会幹事会開催 東商ビル二階会議室 小川次長出席
中小企業金融公庫宇都宮支店促進協議会開催 十時 県正庁 新部職員出席
- 日商第九十回常議員会開催 三時 東商ビル
- 日商第三十四回議員総会開催 三時三〇分 荒收副会頭、小川業務部長出席
- 二十日 日商第十六回通常会員総会 十時 東商会議室
三菱石油(株)宇都宮東給油所開所式 十一時 荒收副会頭出席
- 廿一日 当所常議員会開催 一時 第三会議室

- 廿二日 昭和37年度第三回中小商業店舗改造資金融資審査会開催 十時 商工労働部長室
- 栃木県青色申告会連合会総会開催 十時 第三会議室
- 廿三日 第二回事務職員検定試験施行 宇都宮学園高等学校受験者65名
- 廿四日 関東商工会議所主催経営指導員研修会開催 九段会館 小川(仁)、新部職員出席
- 廿五日 栃木県商工会議所連合会々頭会議開催 十時 第三会議室
- 廿五日-廿六日 経営指導員基礎研修会開催 十時 県自治研修所 鈴木、亀田職員出席
- 廿七日 商業活動調整協議会 第三会議室
宇都宮市中小商工業機械設備資金融資審査会 十時 市公室前室 新部職員出席
- 宇都宮経済倶楽部主催「景気の見透しと株式投資」講演会開催 一時三〇分 足銀会議室
- 廿八日 宇都宮労働基準協会役員会開催
第十二回栃木県社会福祉大会開催 十時 栃木会館
- 十月
二日 第八回栃木県製材技術競演会開催 会場、宇都宮木材(株)陽北工場 同表彰式 一時 当所二階ホール
栃木県酒造組合主催「とちの清酒を語る」座談会開催 二時 上野百貨店ホール
- 三日 当所常議員懇談会 十一時 第三会議室
中小企業金融公庫宇都宮設置促進に關し陳情の為上京す。当所より高橋副会頭外二名同行す。
- 四日 秋の交通安全運動実施に伴う事前打合せ 一時 警察署会議室 荒收副会頭、小川次長出席
- 五日 昭和37年度関東商工会議所連合会総会開催 山梨県民会館大講堂



Miyajimacho Utsunomiya

TEL. (2) 3,726・6,021・2,958

| | | |
|---------------------|----------------|----------------|
| 縫製 | 西原町三〇 | (有)宇都宮被服 |
| 製菓 | 埴田町元 | 上野貞次郎 |
| 家具卸 | 中戸祭町九三 | 菅沼定司 |
| 京染 | 今泉町五二 | (有)荻原京染店 |
| 電気類修理 | 旭町一の三三 | (有)渡辺電気工業所 |
| ミシン部品製作 | 宿郷町七 | 栃木工業 (株) |
| 作業服縫製 | 和尚塚町三七 | 結東長之助 |
| 縫製 | 埴田町二四 | (有)八千代縫製 |
| 製本 | 西大寛町二、四〇 | 福田キノ |
| 看板 | 花房町一、八〇 | (株)共 同 |
| 土建 | 今泉町一〇七 | 日本機械建設 (株) |
| スチール・サツ シユ・軽量鉄骨 | 上横田町一、二三 | 東北鋼業株式会社 |
| 鮮魚・食料品 | 雀宮町六〇 | (有)福田秀見商店 |
| 理容 | // 二、四三三 | 福田信夫 |
| 燃料・プロパン ガス・石炭・石油 | 小幡町三、六六 | 井沢忠義 |
| 建具・箆管製作 | 西原町二、一〇 | 丸山コヲ |
| 印刷 | 大寛町二、三〇 | 石川賢三 |
| 労務管理事務所 | 二条町一、二四 | 栃木労務管理事務所 |
| 精肉 | 一ノ沢町 一、五二の二 | 松本吉央 |
| 呉服 | 日野町元 | (有)大森正男商店 |
| パシオン | 旭町二の三、五五 | (有)岡本パン店 |
| 貴金属 | 馬場町三、四 | (株)博泉堂 |
| 家庭電気器具 | 池上町三、〇三 | (有)中村電気 |
| 青果 | 大谷町一、三三 | 大室貢 |
| 旅館 | 埴田町三三 | あづまや旅館 根本俊明 |
| 石材 | 駒生町三、三六 | 小倉要 |

第3回計量包装コンクール並に座談会

当所階上ホールにて開催さる

宇都宮市並に当所、宇都宮市商店街連盟、宇都宮市計量普及協会主催にて、去る十月二十五日午後一時より五時迄市内各商店、女子店員二十七名の出場参加者を得て、当所階上ホールに於て多数の参観者の下に開催された。計量器調整・計量・包装・計算・態度等の五項目に亘って、一人十分間の総合実技にて、各担当委員の厳正な審査の結果、左記出場者の方々が入賞され、講評のあと入賞表彰式(賞品の授与)が行なわれ、終りに各関係者、出場者全員参加による座談会を開き、所期の目的を充分に達成され、有意義に終了しました。

記

(敬称省略)



小花塗装株式会社

建設大臣登録 (4) 3873 号

本社 宇都宮市元石町925
TEL (2) 3609

支店 東京都台東区浅草寿町3の10

取締役社長 小花末吉
専務取締役 小花一夫
取締役東京支店長 小花実

| 順位 | 所 属 | 氏 名 | 総合得点 |
|-----|----------|-------|------|
| 第一位 | (株)上野百貨店 | 中島きわ子 | 九六四点 |
| 第二位 | // | 小川信子 | 九三七点 |
| 第三位 | (株)山崎百貨店 | 矢口昭子 | 九二八点 |
| 第四位 | イマイ菓子店 | 菊地チイ | 九二三点 |
| 第五位 | (株)上野百貨店 | 篠崎好恵 | 九二三点 |

共同給食関係先進地視察
に就いて

当所並びに市・商店街連盟・市観光協会主催にて同様参加メンバーを構成、総員31名にて去る9月28・29の両日前橋及び高崎両市の共同給食関係施設の視察を左記のように実施致しましたので、その概要をお知らせ致します。

記

- (1)、視察コース(往路) 宇都宮―足利―桐生―前橋(共同給食関係及び商店街視察)―
 渋川―水上(一泊)
 (帰路) 水上―高崎(共同給食関係及び商店街視察)―太田―宇都宮
- (2)、視察状況 午前八時、当所前に集合、東野観光バスに便乗出発す。
- (1) 前橋市、前橋商工会議所を訪問、同所倅田専務外関係者の方より夫々前橋市の市勢観光概要及び共同給食関係の説明を聞いた後、建設中の共同給食建築現場及び中心商店街を視察す。戦災で八割を失った市街地は近代都市として復興し、商工業の発展を反映して活気にあふれている。

④ 前橋福祉センター

- (1) 団体・前橋中小企業福祉センター
組合員数 六〇〇事業所
- (2) 資金計画 出資金 (二、五〇〇円) 二、五〇〇万円

給食保証金 (一、〇〇〇円×五、〇〇〇人) 五〇〇万円
 宿舍〃 二〇、〇〇〇円×七〇〇人 一、四〇〇万円

助成金 県三六年度五〇〇(決定) 県三七年度三〇〇市三七年度一、〇〇〇(決定) 市三八年度五〇〇

借入金 厚生年金還元融資 七、四〇〇(決定)

〃 一三、〇〇〇(第二次)

共同設備資金 一、〇〇〇

労働福祉施設資金 五〇〇

保証金 納入業者保証金 一、〇〇〇

計 二八、七〇〇万円

この他に補助ではないが、ほぼ市の中心部にある市立女学校の敷地二、八〇〇坪を坪一、五〇〇円で市より払下げをうけ、この地に福祉センターを設置した。

(この土地は地価坪四〇、〇〇〇円相当のものである)

(4) 取得固定資金

給食室 三一六坪 二、一三三万円、鉄骨一部鉄筋コンクリート

福祉施設 三一〇坪 二、六三五万円、鉄筋三階建

浴場 三二坪 二七二万円、温泉式浴場

ボイラー室 四二坪 二一〇万円

倉庫その他 一六・五坪 八二、五万円

運動具置場 一〇坪 五〇万円

宿舍 一、五〇〇坪 一五、〇〇〇万円

第二次厚生年金還元融資借入計画分、鉄筋コンクリート一七五室、七〇〇人収容

車 輛 一〇台 五〇〇万円

機械器具 二、〇八〇万円

什器備品 一、四三四万円

土地 二、八六九坪 四、三〇三、五万円

合計 二八、七〇〇万円

これらの施設のうち共同給食施設のみが着工され、十月末完成の予定である。なお、他の部分はまた旧女学校々舎がそのまま残されている。

(2) 高崎市、高崎商工会議所を訪問、高崎共同食事協同組合吉野理事長及び真下常務より市勢及び共同給食の説明を聞いた後、真下常務の案内により建設中の共同給食建築現場及び市内中心部商店街を視察す。商業店舗数は三、八〇五店で従業員数一三、八四〇名卸売業年間二三〇億円、小売販売業九二億円と商業都市の隆盛を示している。

⑤ 高崎共同食事協同組合について

- 1、名称 高崎共同食事協同組合
- 2、所在地 高崎市上並榎町字稲荷前二七三
- 3、設立年月日 昭和三十六年一月一日
- 4、出資金 六〇〇万円

- 5、組合員数 八二事務所(工業七〇%、商業三〇%)
- 6、施設概況 (イ) 土地 五六〇坪(一八五四㎡)坪約一〇、〇〇〇円

- (ロ) 建物 軽量鉄骨ブロック建
- (1) 建坪二九七坪 (2) 延坪三二八坪
- (1) 事務五名、一般事務、栄養士
- (2) 作業員三五名、四五名、調理士、運転手、汽缶士、作業員

- 8、給食地域 高崎市一円
- 9、給食能力 一日八、〇〇〇〜一〇、〇〇〇食
- 朝食三五円、昼食五〇円、夕食四五円
- 計一三〇円

- 10、配達方法 全域を六ヶ七地区に分け六ヶ七台の車で配達する。一台分五〇〇〜六〇〇食

11、資金調達

A 取得

出資金 六〇〇万円 一戸五、〇〇〇円

借入金 四、七〇〇〃 厚生年金還元融資

市補助 五〇〇〃

計 六、三〇〇〃

B 運用

土地 六〇〇万円 五六〇坪

建物 二、二〇〇〃 軽量鉄骨一部二階

設備 三、三〇〇〃

什器其他 二〇〇〃

計 六、三〇〇〃

12、本年十月下旬完成の予定であるが、最初は昼食のみ三〇〇食程度から始めて半年後に軌道にのる様にする。

機械工業協同組合(八〇社、従業員三、〇〇〇人)に於て残業食を共同ではじめ様としたことがきっかけになっている。

高崎市よりは全員無事、有意義に初期の目的を達成し、午後七時本市に到着す。

登録商標 宇都宮市 宇都宮マルウ製菓 TEL. (2) 3417-7590

小売物価調査報告表

(昭和三十七年十月現在)

| 区分 | 品目 | 単位 | 価格 | 区分 | 品目 | 単位 | 価格 | 区分 | 品目 | 単位 | 価格 | 区分 | 品目 | 単位 | 価格 | | | |
|-------|----------|------|----|-------|------|---------|------|-------|-----|-------|-------|-------|------|-------|------|-----|-----|-----|
| 穀類・粉製 | うるち米(配給) | 1kg | 83 | 野菜・果実 | 大根 | 1kg | 30 | 畜産食品 | 牛肉 | 100g | 70 | 加食料工品 | 竹輪 | 100g | 9 | | | |
| | “(非配給)” | ” | 88 | | キャベツ | ” | 20 | | 豚肉 | ” | 60 | | たくあん | ” | 8 | | | |
| | “(外米)” | ” | 63 | | ねぎ | ” | 35 | | 牛乳 | 180cc | 14 | | 菓子 | ビスケット | 1包 | 100 | | |
| | “(準内地米)” | ” | 74 | | 玉ねぎ | ” | 35 | | 鶏卵 | 1本 | 24 | | | キャラメル | 1函 | 20 | | |
| | もち米 | ” | 91 | | りんご | ” | — | | バター | 1函 | 180 | | | ドロップ | 100g | 25 | | |
| | 精麦 | ” | 55 | | みかん | ” | — | | 調味料 | 醤油 | 1本 | | 195 | せんべい | ” | 25 | | |
| | 小麦粉 | ” | 55 | | 水産食品 | まぐろ | 100g | | | 18 | 味噌 | | 1kg | 86 | 嗜好品 | 清酒 | 1本 | 460 |
| | 小麦 | 100g | 12 | | | さば | ” | | | — | 化学調味料 | | 1かん | 190 | | ビール | ” | 115 |
| | 食パン | ” | 10 | | | いわし | ” | | — | 砂糖 | 1kg | | 140 | 焼酎 | | ” | 345 | |
| | 干うどん | ” | 6 | | | いか | ” | | 6 | 食用油 | 1ℓ | | 180 | ウイスキー | | ” | 300 | |
| 野菜実 | かんしょ | 1kg | 30 | 塩さけ | | ” | 45 | 加食料工品 | 豆腐 | 100g | 5 | ジュース | ” | 300 | | | | |
| | ばれいしょ | ” | 30 | 煮干 | | ” | 30 | | 油あげ | ” | 17 | 緑茶 | 100g | 40 | | | | |
| | | | | 干のり | | 1帖(10枚) | 100 | | | | | | | | | | | |

| 区分 | 品目 | 単位 | 価格 | 区分 | 品目 | 単位 | 価格 | 区分 | 品目 | 単位 | 価格 | 区分 | 品目 | 単位 | 価格 | |
|-------|----------|-------|-------|-----|---------|------|--------|--------|---------|-------|---------|-----|--------|-----|-------|-----|
| 嗜好品 | 紅茶 | 1かん | 150 | 織維品 | 作業服 | 1着 | 1,850 | 燃料 | 木炭 | 1俵 | 550 | 雑品 | 洗濯せっけ | 1袋 | 450 | |
| | たばこ(いこい) | 1函 | 50 | | 男子メリヤス | 1枚 | 230 | | まき | 1束 | 65 | | クリーム | 1個 | 120 | |
| 織維品 | 晒木綿 | 1m | 24 | | 男子ワイシャツ | ” | 800 | | 石炭 | 1呎 | 170 | | 新聞 | 1ヶ月 | 390 | |
| | ポプリン | ” | 80 | | 男子くつ下 | 1足 | 180 | | れん炭 | 1袋 | 270 | | 男子革靴 | 1足 | 3,000 | |
| | キャラコ | ” | 75 | | 婦人くつ下 | ” | 400 | | ガソリン | 1ℓ | 46 | | 運動靴 | ” | 300 | |
| | ネル地 | ” | 85 | | 毛糸 | 500g | 1,400 | | 家庭用機械器具 | テレビ | 1台 | | 52,000 | げたた | ” | 380 |
| | サージ | ” | 1,350 | | 打綿 | 1本 | 1,200 | | | 電気洗濯機 | ” | | 23,000 | ちり紙 | 100枚 | 17 |
| オーバー地 | ” | — | 建築材料 | | 杉角材 | 1立方m | 28,800 | | | 電球 | 1個 | | 65 | ノート | 1冊 | 20 |
| 富士絹 | ” | 350 | | | 杉板材 | 1平方m | 195 | | 自転車 | 1台 | 16,000 | | 飯茶わん | 1個 | 20 | |
| ナイロン | ” | 220 | | | セメント | 1袋 | 370 | | ミシン | ” | 29,800 | | なべ | ” | 430 | |
| 男子背広服 | 1着 | 9,500 | | くぎ | 100g | 7 | 時計 | 1個 | 4,500 | マッパ | 1袋(10箱) | 35 | | | | |
| 男子学生服 | ” | 3,500 | | 畳表 | 1枚 | 420 | 雑品 | 感冒薬 | 1箱(25錠) | 130 | 鉛筆 | 1本 | 10 | | | |
| | | | 板ガラス | ” | 75 | 栄養剤 | | ”(30錠) | 220 | フィルム | ” | 180 | | | | |

中小企業相談所では経営指導員が、皆様のお店や工場等にお伺いし、金融・税務その他経営一般について皆様の御相談に応じております。経営改善のお役に立ちたいと思っておりますのでお気軽に御利用下さい。

宇都宮商工会議所中小企業相談所